

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

家庭児童相談室について

毒キノコにご用心

子どもに係る相談は、児童相談所ではありません。

県の各地域振興局健康福祉部内及び市の福祉事務所には家庭相談室が設けられ、家庭相談員が、お子さん(一八歳未満)について、相談・指導を行っています(無料)。

●相談内容

- ・ お子さんの生活習慣や発達
- ・ 学校などでの過ごし方
- ・ 非行や問題のある行動
- ・ 家族関係やお子さんの養育
- ・ その他、お子さんについて心配なこと
- 受付時間など
- ・ 月々金(祝祭日を除く)
- ・ 午前九時～午後四時

●連絡先

- ・ 富士北麓・東部地域振興局健康福祉部家庭児童相談室
 - ☎(22)7820
 - ・ 都留市福祉事務所家庭児童相談室
 - ☎(46)5112
- 必要に応じ家庭訪問も致します。

また、学校、幼稚園、保育園、近所の皆さんからの相談も受け付けています。

今年も楽しみなキノコ狩りのシーズンをむかえます。

山に入って森林浴をしながらキノコを探しまわるのは、とても楽しいことと思います。それにも増してキノコ料理を心待ちにしていることでしょう。

ここでご注意!

昨年度の大月保健所管内のキノコ食中毒の発生状況は、

- クサウラベニタケを
- ウラベニホテイシメジと誤食
- カキシメジを
- サクラシメジと誤食

により二件発生し、大勢の人々が苦しみました。安易なキノコの判別は絶対にいけません。

「美しい物にトゲがあるように、おいしい物には毒がある。」と自分に言い聞かせてください。キノコの見分け方は難しく、昔から言い伝えられている事では絶対判断しないことです。必ず専門家に判断してもらいましょう。

楽しい思いをつくるために。

問合せ 健康福祉部 ☎(22)7827

不審に思えることをしようとして
いるのを知っても、「かわからず」
知らぬ振りをして、「互いの個性や
考えを尊重する」という名目で、
相互の行為に交渉しあわない状況
が進行しています。かつての頑固
親父の叱りが効果的であった「か
わり合い」は今日成立しにくく、
「かわり合い」の難しさを痛感し
ています。しかし、いつの世も人
は他人と「かわり合う」ことによ
り自己や他者に気づき、自己を問
い直しながら自己形成し、社会関
係を築いていきます。そういう意
味でも地域の大人達は、両親が気
づかずにいる面に関わって自分の
願いや気持ちを込めて語りかけて
くれる「必要とする他人」として、
子ども達に出会っていかなければ
ならないと思います。

と強く思うのです。
まず親や教師は、「過保護でな
く」「放任でなく」「スパルタでもな
く」「子どもの話に耳を傾け、受け
止めてやる存在でありたいと思い
ます。そして、時には自分自身を
語ること、自分の経験した出来事、
つまずき、失敗、それらをどんな
ふうに乗れ越えたり乗り越えられ
なかったりしたか、希望や不安、
人々と関係を作っていくことの難



しき、楽しさ、喜びなど、生きて
いるその息づかいを伝え、子ども
達と共感していくことが大切だと
思います。さらに、親のペースに
子どもを巻き込んで子育てを行う
のではなく、親が子どものペース
に合わせて、しっかりと向き合っ
ていかなければと思います。

では地域の大人達はどうかあれば
いいのでしょうか。今日は、私自
身も含めて自分の周囲で自分には

健全育成シリーズ (134)



「近頃の子どもや若者はわからな
い」「自己中心的だ」は、いつの世
にも傍観者のかつ一般的に批判す
るだけの言葉で、永遠に繰り返し
いわれ続けています。けれど近頃
の大人が口にするその「わからな
い」という言葉には、不安や苛立
ちの気持ちが強く込められて聞こ
えてきます。そして、大人の想像
力と理解を超えた事件を起こす暴
力性が広がるにつれ、子どもの世
界から大人の撤退という事態をも
生み出しているように思います。

経済発展に力を入れ、能率や効
率を重視してきた日本社会は、支
配と競争の論理を絶対化し、経済
だけでなく学校教育、さらには家
庭の中にも浸透させてきました。
大人達が『ガンバレコール』を送り、
何ができる、できないという物差
しのみで子どもを見て、ナンパ
ワンを追い続けさせた結果、自己
否定と人間関係の断絶した子ども
を作り上げてしまったにもかかわ
らず、手におえなくなつたから知
らん顔でいいのでしょうか。

子どもは、大人社会が養育や教
育の名において、果たさなければ
ならない「責任」の対象としての存
在です。したがって私達大人が子
ども達を見る時、彼らが「そんな
のだ」という認識に立ち、今こそ大
人と子どもの関係を見直す時機だ